

2021年6月4日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2021年6月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 青木 義美)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2021年6月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	マイナス圏ではあるものの4期連続で上昇。旺盛な巣ごもり需要や、堅調を維持する自動車関連製造業が回復をけん引した。一方で、新型コロナ感染拡大が続く中、飲食・サービス業では依然厳しい状況が続いている。 自動車関連が集積する東三河・西三河地域は顕著に回復しプラス水準に浮上した。
景況の方向	ワクチン接種の進展への期待がある一方、足元の感染拡大により先行き不透明感が強い。半導体不足やウッドショックによる生産活動への影響を懸念する声もあり、横ばいを見込む。
新型コロナの影響	新型コロナによる地域経済への影響は「かなりある」が4割超で最も多かった。影響度は、感染第3波による緊急事態宣言下にあった3月期調査から低下しており、地域経済への影響は軽減傾向が続いている。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・後藤 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2021年6月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある111支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2021年5月中旬に調査票を配付・回収

調査結果

景気的水準： 旺盛な巣ごもり需要や、堅調を維持する自動車関連製造業が回復をけん引した。一方で、新型コロナ感染拡大が続く中、飲食・サービス業では依然厳しい状況が続いている。

景気方向： ワクチン接種の進展への期待がある一方、足元の感染拡大により先行き不透明感が強い。半導体不足やウッドショックによる生産活動への影響を懸念する声もあり、横ばいを見込む。

	景気的水準(2021年6月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は▲25.1（前环比+13.3）で、依然として厳しい状況にあるものの持ち直しの動きが続き、4期連続の上昇となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲1.1と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>自動車関連など一部の製造業は好調。コロナ禍に対する慣れもあり、住宅関連・趣味等も含め巣ごもり消費は増加傾向にある。全般的に回復傾向と感ずるが、飲食・宿泊・サービス業など依然厳しい業種もあり、上向きとまでは言えない。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県▲22.6（前环比+20.5）、岐阜県▲26.0（前环比+8.9）と、厳しい状況ながらも4期連続で持ち直しの動きが見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲5.5と「悪化」超 ・岐阜県は±0.0（「良化」「悪化」均衡）
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県では、主力の自動車関連が堅調に推移、コロナ前の水準に回復した企業もみられる。ただし、一部では半導体供給不足による生産調整などの影響がある。外食・旅行関連は依然厳しいが、日用品等巣ごもり消費や住宅・リフォーム関連は好調。</p> <p>・岐阜県では、航空機関連、飲食・サービス関連は新型コロナの影響を受け低迷したまま、先行き不透明感も拭えない。一方で、自動車関連は回復鮮明な先もあり、工作機械関連も徐々に持ち直しの動きがある。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名・四日市を除く9地域で上昇した。特に自動車関連が集積する西三河、東三河地域では回復が顕著で、西三河は6期ぶり、東三河では11期ぶりにプラス圏に浮上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 東尾張、岐阜、桑名・四日市 ・「悪化」超 西尾張、西三河、飛騨・郡上
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 自動車関連は好調に推移。生産量増加を背景に、物流企業も回復傾向にある。巣ごもり需要に合致するスーパー、小売関連では好業績先が増加するも、観光・ホテル・外食関連は引き続き低迷している。</p> <p>【岐阜地域】 自動車部品・半導体関連も上向きで、しばらくは良好な状況が継続する見込み。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」は2期ぶりに上昇し、「生産活動」「設備投資」「企業収益」も持ち直しの動きが継続。 ・「資金需要」は4期連続で減少し、資金確保の動きは一巡した。 ・「雇用」は4期連続上昇し、5期ぶりに「不足」超となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」 ・「減少」超 「資金需要」 ・「雇用」は ±0.0（「過剰」「不足」均衡）
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、巣ごもり関連消費は伸びている。住宅・マンション関連も堅調。一方で、外食、サービス、旅行関連への消費は依然厳しい状態が続いており、総合的には低調。</p> <p>「生産活動」：自動車関連企業の生産活動は活況であるが、世界的な半導体不足による生産調整の懸念があり、この先の受注動向は不透明。また、アメリカを発端としたウッドショックにより、建材商社やハウスメーカーへの影響も懸念される。</p> <p>「設備投資」：堅調な自動車関連、工作機械関連では設備投資を実施しているが、事業再構築補助金やものづくり補助金等、補助金を絡めたものが多い。</p> <p>「企業収益」：飲食・サービス・旅行関連は低調であるが、自動車関連を中心とした製造業では、原価改善や経費削減効果により増益にて推移している。</p> <p>「雇用」：受注が戻りつつある建設業や製造業では、外国人実習生の雇用が困難であることもあり、慢性的な人手不足状態。一方、飲食店や旅行関連企業では余剰人員が出ている状況。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方向)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2021年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲27.5 (+10.0) ↗	▲30.0 (+2.5) ↗	0.0 (+5.0) ↗	▲37.5 (0.0) ⇐	▲35.0 (▲2.5) ↘	▲37.5 (▲30.0) ↘	▲5.0 (+2.5) ↗
東尾張	▲33.3 (+16.7) ↗	▲22.9 (+27.1) ↗	2.1 (+29.2) ↗	▲20.8 (+2.1) ↗	▲18.8 (+27.1) ↗	▲39.6 (▲20.8) ↘	14.6 (+8.3) ↗
西尾張	▲31.3 (+12.5) ↗	▲15.6 (+15.6) ↗	▲37.5 (▲25.0) ↘	▲34.4 (+15.6) ↗	▲34.4 (+9.4) ↗	▲37.5 (▲31.3) ↘	▲3.1 (+15.6) ↗
西三河	12.5 (+50.0) ↗	▲50.0 (▲12.5) ↘	0.0 (▲12.5) ↘	▲37.5 (0.0) ⇐	▲25.0 (▲12.5) ↘	▲37.5 (▲37.5) ↘	▲25.0 (▲12.5) ↘
東三河	20.0 (+60.0) ↗	▲20.0 (▲40.0) ↘	20.0 (0.0) ⇐	▲20.0 (▲30.0) ↘	20.0 (+40.0) ↗	▲20.0 (▲40.0) ↘	0.0 (0.0) ⇐
岐阜	▲25.6 (+10.5) ↗	▲31.4 (+3.5) ↗	▲9.3 (+7.0) ↗	▲31.4 (+10.5) ↗	▲20.9 (+24.4) ↗	▲30.2 (▲10.5) ↘	8.1 (+11.6) ↗
西濃	▲31.0 (+3.4) ↗	▲39.7 (+3.4) ↗	▲13.8 (+1.7) ↗	▲39.7 (▲8.6) ↘	▲39.7 (0.0) ⇐	▲53.4 (▲50.0) ↘	19.0 (+13.8) ↗
東濃・可茂	▲27.8 (+5.6) ↗	▲27.8 (▲11.1) ↘	0.0 (+11.1) ↗	▲33.3 (0.0) ⇐	▲38.9 (+11.1) ↗	▲33.3 (▲16.7) ↘	22.2 (+27.8) ↗
飛騨・郡上	0.0 (+33.3) ↗	0.0 (+33.3) ↗	0.0 (0.0) ⇐	▲33.3 (▲16.7) ↘	▲16.7 (+16.7) ↗	▲33.3 (▲33.3) ↘	0.0 (+50.0) ↗
桑名・四日市	▲37.5 (0.0) ⇐	▲25.0 (+25.0) ↗	▲37.5 (▲25.0) ↘	▲50.0 (+12.5) ↗	▲25.0 (+12.5) ↗	▲37.5 (▲25.0) ↘	0.0 (+12.5) ↗
愛知県(5地域)	▲22.6 (+20.5) ↗	▲26.0 (+8.9) ↗	▲6.2 (+4.1) ↗	▲30.1 (+2.1) ↗	▲24.7 (+11.6) ↗	▲37.0 (▲28.8) ↘	0.0 (+5.5) ↗
岐阜県(4地域)	▲26.0 (+8.9) ↗	▲31.3 (+2.6) ↗	▲8.3 (+5.7) ↗	▲34.4 (+1.0) ↗	▲29.7 (+14.1) ↗	▲38.0 (▲25.0) ↘	13.5 (+17.7) ↗
三重(1地域)	▲37.5 (0.0) ⇐	▲25.0 (+25.0) ↗	▲37.5 (▲25.0) ↘	▲50.0 (+12.5) ↗	▲25.0 (+12.5) ↗	▲37.5 (▲25.0) ↘	0.0 (+12.5) ↗
全地域	▲25.1 (+13.3) ↗	▲28.8 (+6.2) ↗	▲8.8 (+3.7) ↗	▲33.3 (+2.0) ↗	▲27.4 (+13.0) ↗	▲37.6 (▲26.6) ↘	7.3 (+12.4) ↗

(*) 1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*) 2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(*) 3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2021年9月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	0.0 ⇐	0.0 ⇐	5.0 ↗	5.0 ↗	0.0 ⇐	5.0 ↗	0.0 ⇐
東尾張	8.3 ↗	8.3 ↗	0.0 ⇐	16.7 ↗	8.3 ↗	4.2 ↗	0.0 ⇐
西尾張	▲25.0 ↘	0.0 ⇐	6.3 ↗	6.3 ↗	18.8 ↗	▲6.3 ↘	0.0 ⇐
西三河	▲25.0 ↘	▲25.0 ↘	▲25.0 ↘	0.0 ⇐	▲25.0 ↘	▲25.0 ↘	▲25.0 ↘
東三河	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	40.0 ↗	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
岐阜	4.7 ↗	7.0 ↗	11.6 ↗	▲2.3 ↘	7.0 ↗	0.0 ⇐	9.3 ↗
西濃	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲6.9 ↘	20.7 ↗	▲6.9 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
東濃・可茂	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲11.1 ↘	22.2 ↗	▲11.1 ↘	0.0 ⇐	▲11.1 ↘
飛騨・郡上	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐
桑名・四日市	25.0 ↗	25.0 ↗	25.0 ↗	0.0 ⇐	25.0 ↗	0.0 ⇐	0.0 ⇐
愛知県(5地域)	▲5.5 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐	11.0 ↗	4.1 ↗	▲1.4 ↘	▲2.7 ↘
岐阜県(4地域)	0.0 ⇐	3.1 ↗	1.0 ↗	9.4 ↗	▲1.0 ↘	▲2.1 ↘	2.1 ↗
三重(1地域)	25.0 ↗	25.0 ↗	25.0 ↗	0.0 ⇐	25.0 ↗	0.0 ⇐	0.0 ⇐
全地域	▲1.1 ↘	2.8 ↗	1.7 ↗	9.6 ↗	2.3 ↗	▲1.7 ↘	0.0 ⇐

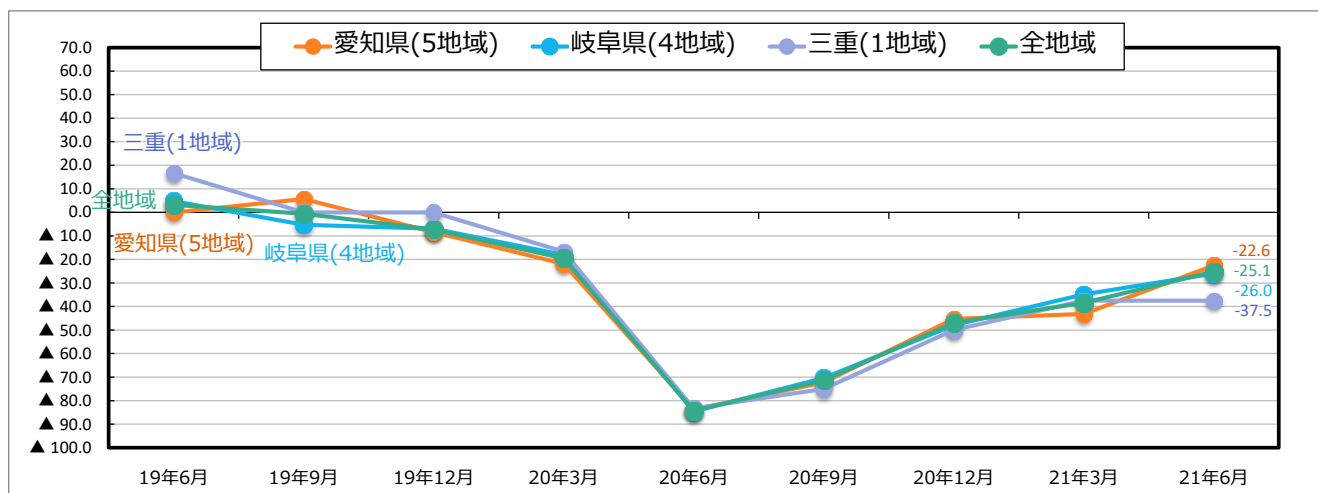
(*) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

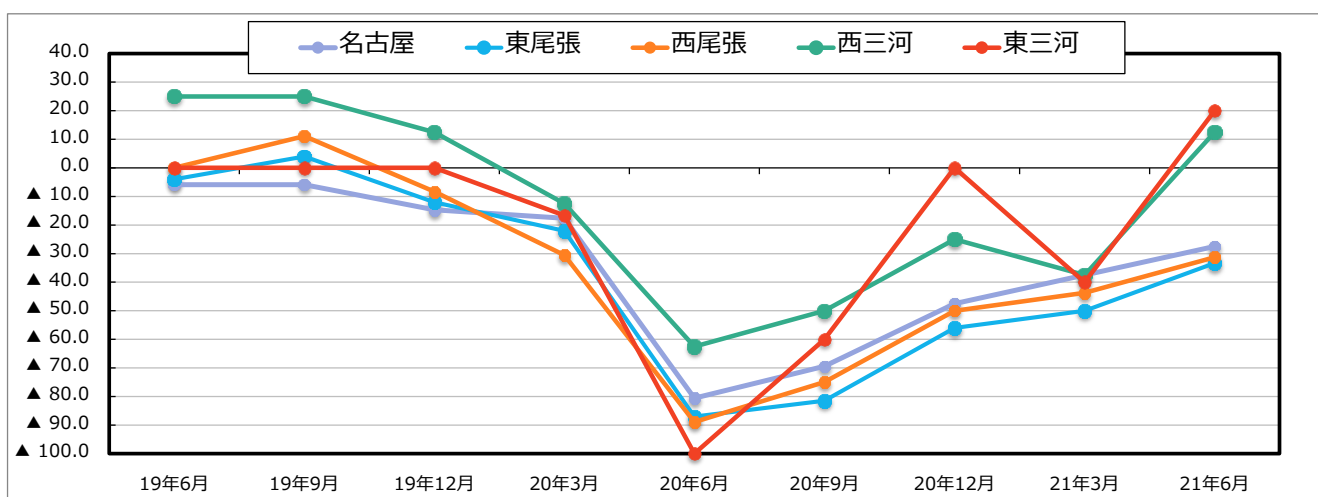
「景気の水準」の推移

■ 県別

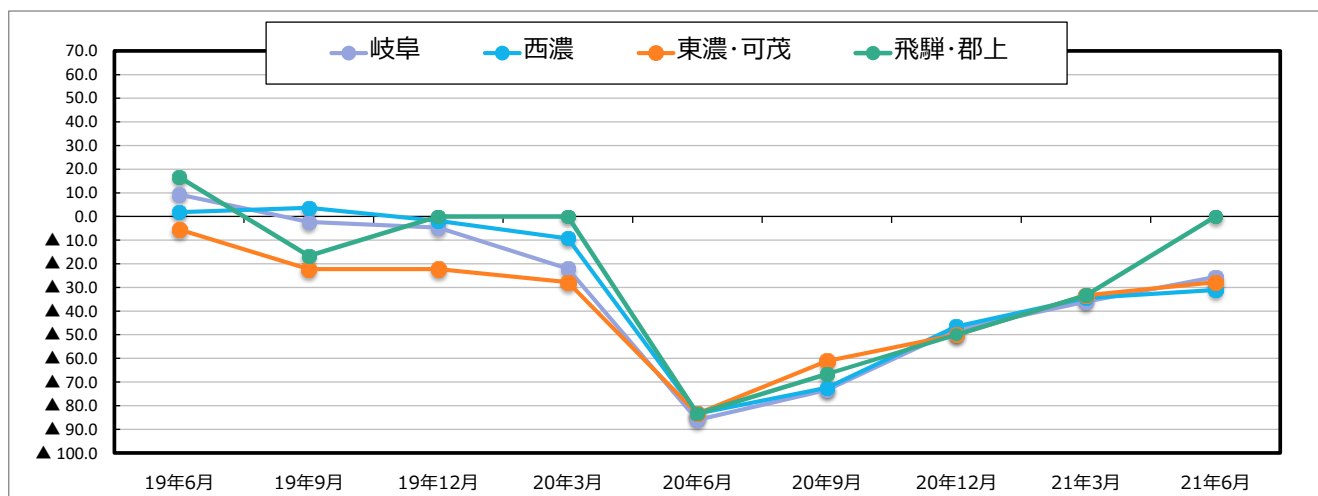


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



追加調査

「新型コロナウイルスによる地域経済への影響」

地域経済への新型コロナウイルスによる影響を観測するため、2020年6月期調査より、景況調査の各項目への「新型コロナウイルス感染症による影響」について尋ねている。地域の景況感に対する新型コロナウイルスの影響について、県別・項目別に見ていきたい。

影響度の指数化について

※指数はOKB景況指数の算出同様、各項目の回答に表のポイントを付与、支店の規模によるウェイト調整を行ったうえで算出している。全支店長が「極めて大きい」と回答した場合は最高点の4、全支店長が「影響はない」と回答した場合は最低点の0となる。

調査項目への新型コロナの影響の大きさ	付与ポイント
影響はない	0ポイント
ややある	1ポイント
かなりある	2ポイント
非常に大きい	3ポイント
極めて大きい	4ポイント

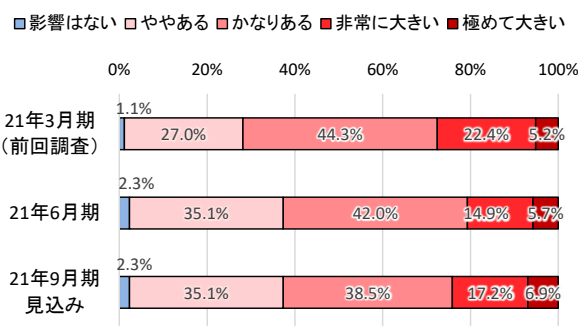
(1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「かなりある」が42.0%と最も多かった。「極めて大きい」、「非常に大きい」の合計は前回比▲7.0ポイントとなっており、緊急事態宣言や感染第3波の影響下にあった前回調査時から、新型コロナの影響は弱まった。地域経済への影響は軽減傾向が続いている。

景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が5.7%、「非常に大きい」が14.9%、「かなりある」が42.0%、「ややある」が35.1%、「影響はない」が2.3%だった。前回（3月期）調査から、「極めて大きい」がほぼ横ばいとなった一方で、「非常に大きい」、「かなりある」が低下した。

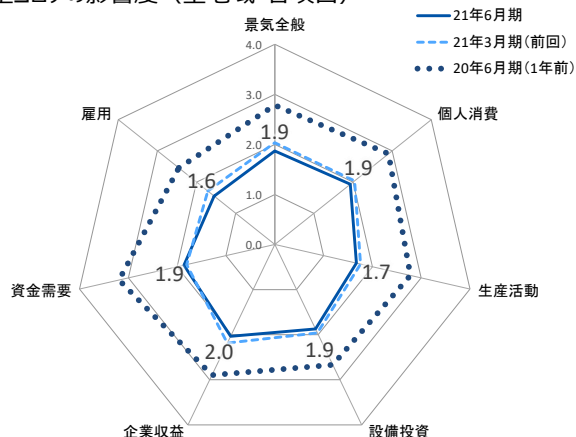
景気全般の影響度は1.9、前回から0.1ポイント低下した。項目別では、「資金需要」は前回比+0.1と影響度が上昇したものの、その他の項目では3月期調査から低下。新型コロナ第3波や2回目の緊急事態宣言の影響が大きかった3か月前から影響はやや軽減した。影響度を調査開始した20年6月期と比較すると、いずれの項目も影響が軽減していることが確認できる。特に「生産活動」、「資金需要」での低下幅が大きい。

3ヵ月後の見通しについて、愛知県・岐阜県とも足元で感染拡大が続いており、各調査項目への「新型コロナによる影響」は、現状と同程度となる見込み。

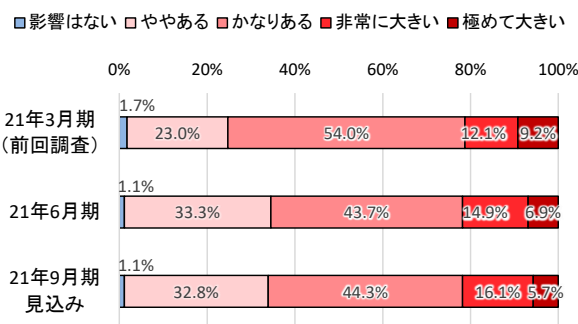
・新型コロナの影響について（全地域・景気全般）



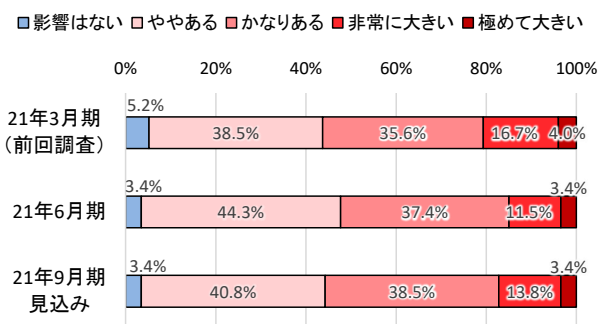
・新型コロナの影響度（全地域・各項目）



・新型コロナの影響について（全地域・個人消費）



・新型コロナの影響について（全地域・生産活動）



(2) 愛知県、岐阜県とも新型コロナによる景気全般への影響度はやや低下。

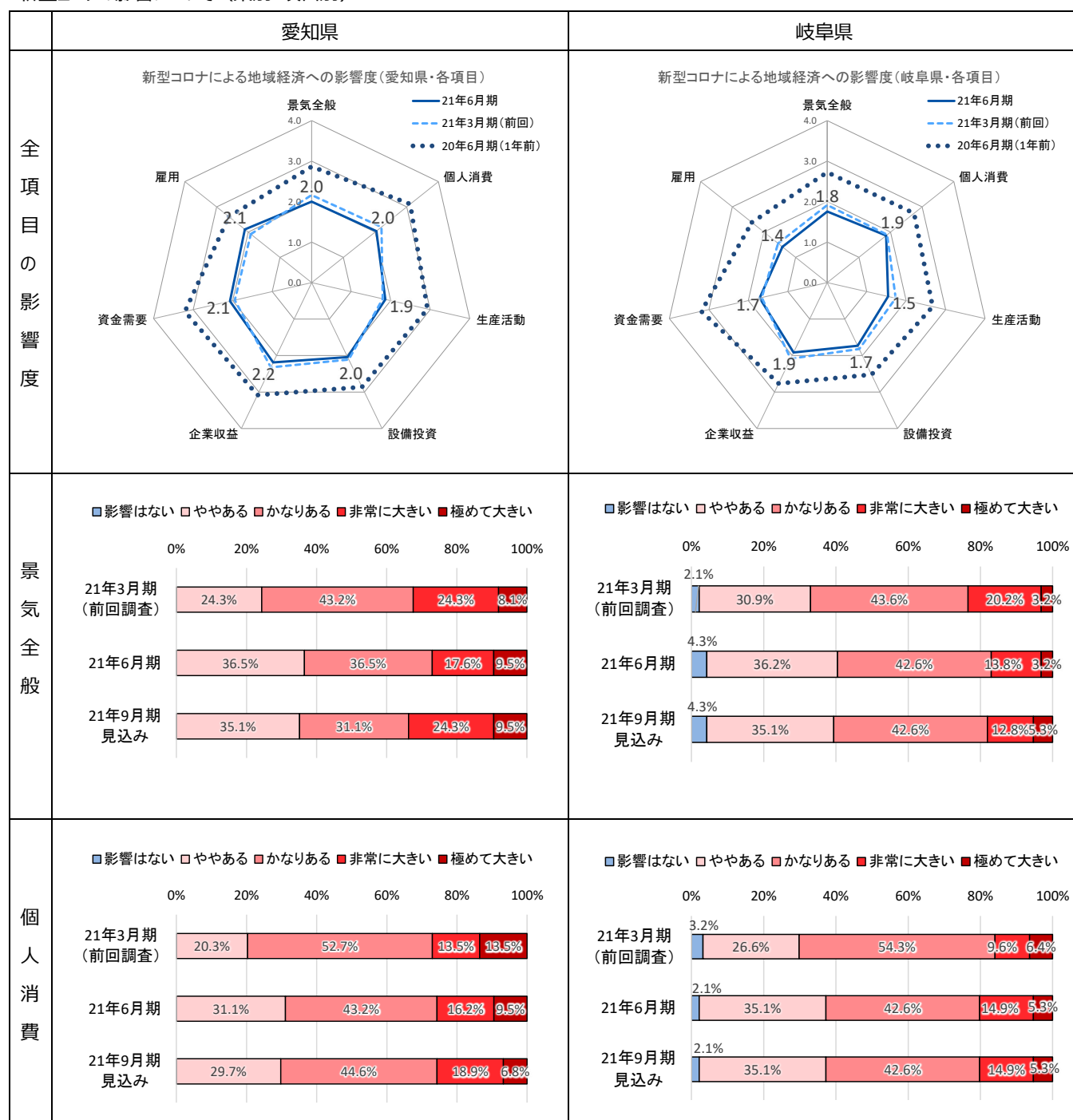
県別に新型コロナの影響度をみている。「景気全般」に対する影響度は、愛知県が 2.0、岐阜県が 1.8 と、両県とも前回調査から低下した。岐阜県では「資金需要」で影響度が前回からやや上昇したものの、その他の項目は低下した。一方で、愛知県では「生産活動」、「資金需要」、「雇用」の 3 項目で影響度が上昇した。

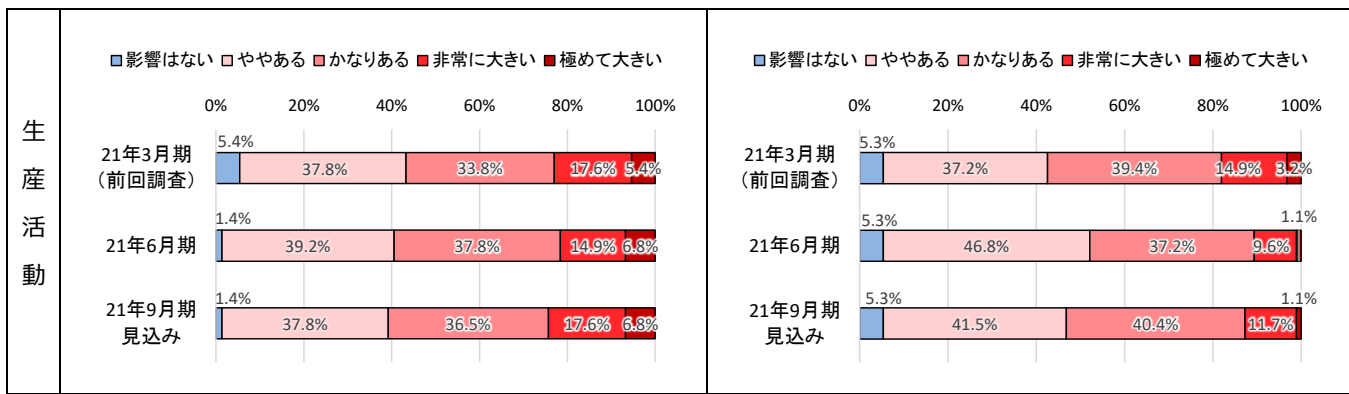
「景気全般」への影響について、「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県 27.1%、岐阜県 17.0%と、愛知県が岐阜県を上回っており、両県の同割合の差は前回調査から拡大した。特に前回からの変化に差がみられたのは「生産活動」、「雇用」で、岐阜県では影響度が低下した一方、愛知県では上昇している。

また、影響度を調査開始した 20 年 6 月期と比較すると、両県ともいずれの項目も影響が軽減していることが確認できる。特に岐阜県の「資金需要」で低下幅が大きい。

3 か月後の景気全般への新型コロナの影響については、岐阜県では各回答が今回調査とほぼ横ばいとなる一方、愛知県では「非常に大きい」、「極めて大きい」の回答が合わせて 33.8%と、6.6 ポイント上昇しており、両県での見通しに差がみられる。

・新型コロナの影響について（県別・項目別）



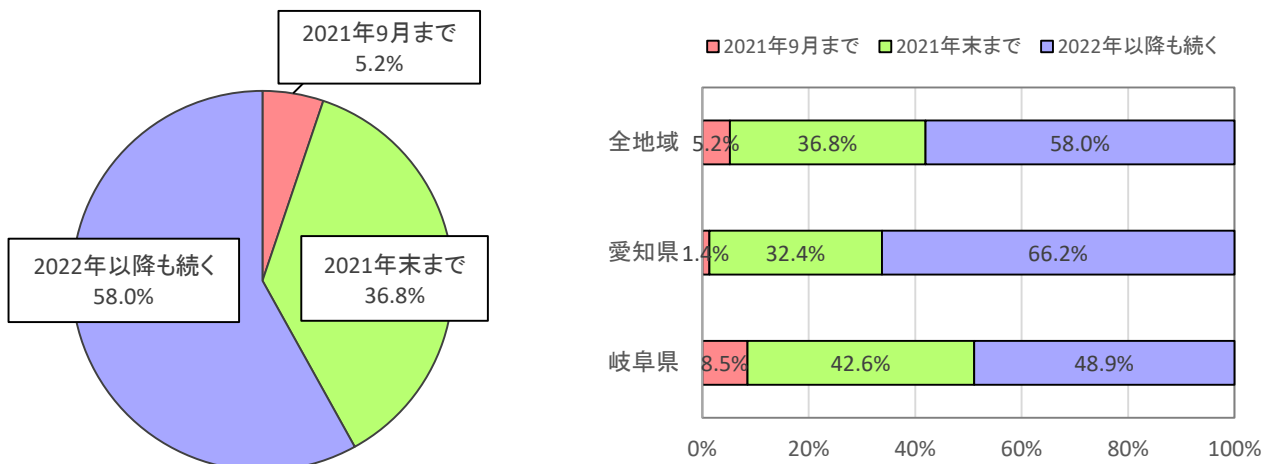


(3) 地域経済への新型コロナの影響は、「2022年以降も続く」が58.0%と最も多く、繰り返される感染拡大によって先行きが見通せない中、地域経済への影響についても、さらに長引く展開を想定している。

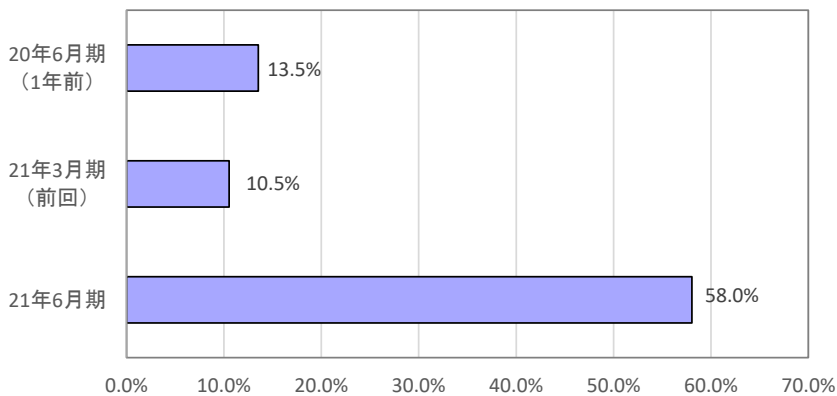
新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くかとみているかを尋ねたところ、「2022年以降も続く」が58.0% (前回比+47.5ポイント)と最も多かった。繰り返される感染拡大によって先行きが見通せない中、地域経済への影響についても、さらに長引く展開を想定している。

また県別に見ると、感染者数が多く、緊急事態宣言の対象となっている愛知県では、「2022年以降も続く」の回答がおよそ3分の2を占めている。愛知県は、岐阜県に比べ影響が大きいと回答する割合が多かったが、影響を受ける期間についても長引くと想定する支店長が多い。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くかとみているか



影響が「2022年以降も続く」回答割合の推移



以上